

川崎市が推進する「ケアイノベーション」の取組

地域包括ケアシステム実現に向け福祉の課題を産業の力で解決するケアイノベーションを推進するため、東京科学大学・産業技術総合研究所と共同運営する「Kawasaki Welfare Technology Lab」(ウェルテック)における製品の安全性・性能等の検証・評価を通じた、企業の優れた福祉製品の開発・普及に向けた伴走支援を行います。

①製品開発検討段階でのニーズの情報提供や

企業間連携等の支援

- 福祉施設が持つ現場ニーズを企業に伝えることで、自社が持つシーズを活かした新たな製品開発に繋げるための勉強会を開催
- アイデアを持つ市外企業と技術シーズを持つ市内企業とのマッチングを創出するイベント等を開催

②製品開発支援

- 製品を開発する際の補助金による支援
- 開発のアイデア段階での仮説検証を支援
- ウェルテックにおける製品の安全性・性能等の検証・評価結果を助言
 - 専門家による伴走支援
 - 福祉施設等における製品モニターの実施

ウェルテックを核とした優れた福祉製品・サービスの開発・普及

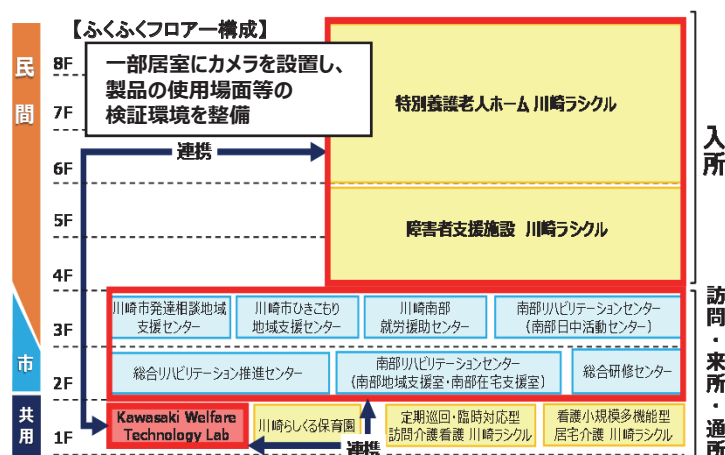
④製品の販路開拓支援

- かわさき基準に認証された製品を紹介する体験展示会等を開催
- 製品を導入する際の補助金による支援

③製品認証支援

- 川崎市独自の福祉製品認証基準「かわさき基準(KIS)」による認証

川崎市複合福祉センター「ふくふく」内の「Kawasaki Welfare Technology Lab」(ウェルテック)



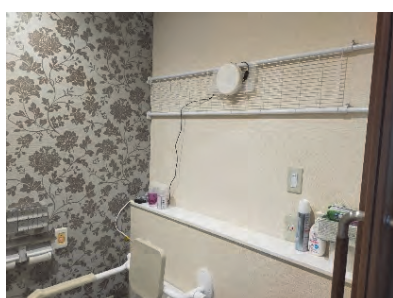
東京科学大学・産業技術総合研究所と連携し製品を科学的・定量的に評価

【取組事例】

ミリ波レーダー見守り装置の検証による改良支援

富士通株式会社×ウェルテック

「ミリ波レーダー」によるプライバシーに配慮した見守り装置（在・不在や転倒有無等居室内の状態を検知）の安全性・性能等を評価し、改良ポイント等を助言



姿勢保持機能付きテーブルの開発プロジェクト

キルト工芸×ウェルテック×JIDA（日本インダストリアルデザイン協会）

高齢者の日常行動分析から安全上の課題を抽出。キルト工芸が高齢者向けの新たな家具市場の開拓を目指し、製品を開発



「ふくふく」内連携での新たな製品創出に向けた取組

総合リハビリテーション推進センター×ウェルテック

総合リハビリテーション推進センターの専門職スタッフ（理学療法士など）に対し、現場での課題等をヒアリング。企業と課題等について意見交換する勉強会を開催

